

報道関係者各位

2002年4月11日
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(証券コード4560 東証一部)

広範囲経口抗菌剤「ガチフロ[®]錠100mg」の 製造承認取得について

杏林製薬株式会社(社長 荻原郁夫)は、4月11日付で厚生労働省より広範囲経口抗菌剤「ガチフロ[®]錠100mg」(一般名:ガチフロキサシン)の製造承認を取得いたしました。

近年、感染症治療においては、セフェム系・ペニシリン系などのラクタム剤やマクロライド系薬剤に対する耐性菌の問題、各種抗菌剤の副作用とりわけニューキノロン系抗菌剤としては光毒性、中枢神経作用の低減など医療ニーズは多様化しております。当社は、これら問題にこたえるべく日本で初めてキノロン骨格の8位にメトキシ基を導入したEight Methoxy Quinolone(EMQ)として「ガチフロ[®]錠100mg」の開発を進めてまいりました。

「ガチフロ[®]錠100mg」は、従来のニューキノロン系抗菌剤の課題であった肺炎球菌をはじめとするグラム陽性菌に加えて、クラミジア、マイコプラズマやペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)等の他剤耐性菌にも強い抗菌力を示します。さらに高い光安定性が確認され臨床における光毒性についても大きく改善しました。

先に発売されているアメリカなどの諸外国では、呼吸器感染症の主要起炎菌に対して強い抗菌力を持つことから「Respiratory Quinolone(レスピラトリーキノロン)」として、その評価が確立されつつあります。日本においても同様に呼吸器感染症に高い有用性を持つ新世代のフルオロキノロン系抗菌剤として、臨床現場の評価を得ていきたいと考えております。また呼吸器感染症に加えて、耳鼻咽喉科、尿路・性器、皮膚科、外科、婦人科、眼科、歯科・口腔外科領域の各感染症に対して、高い治療効果が認められております。

当社といたしましては、大日本製薬株式会社との共同販売を通じて、両社の営業力を併せて市場への早期浸透を図り、感染症領域における確固たる地位を築いていきたいと考えております。そしてニューキノロン系抗菌剤のパイオニアとして国内における経口抗菌剤のトップシェア獲得を目指してまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ 杏林製薬株式会社 企画室 TEL: 03-3293-3414 FAX: 03-3293-3450

< 参考 >

「ガチフロキサシン」は、 Bristol-Myers Squibb 社（米国）、グリュンター社（独）を通じて、現在世界 17 カ国で販売をされています。

発売国

メキシコ、プエルトリコ、米国、ブラジル、アルゼンチン、タイ
シンガポール、オーストラリア、フィリピン、南アフリカ、カナダ
インドネシア、グアム、チリ、ドイツ、ベトナム、マレーシア